

おおだて 市議会だより

122号

平成28年11月1日



平成28年 **9月定例会** (会期：8月30日～9月29日)

第3回秋田25市町村対抗駅伝
ふるさとあきたラン!大館大会
(平成28年10月2日撮影)

- 主な議案等の審議結果(9月定例会) P.2
- 一般質問 P.4
- 議会報告会のお知らせ P.9
- 私もひ・と・こ・と P.10

主な議案等の審議結果

9月定例会（会期：8月30日～9月29日）

内訳：専決処分の報告1件、専決処分の承認2件、条例案8件、単行案3件、予算案10件、人事案1件、報告2件、決算の認定20件、決算特別委員会の設置2件、請願1件、陳情1件、意見書案4件、議員の派遣1件、継続審査中の請願6件・陳情6件

計68件

主 案 件 ・ 内 容	結 果
○ 大館市役所出張所設置条例・大館市公民館条例・大館市公民館使用条例の一部を改正する条例案 矢立公民館を移転することに伴い、関係する条例を変更するものです。	原案可決
○ 大館市民プールに関する条例を廃止する条例案 新庁舎建設に向けた発掘調査を行うため、市民プールを解体する必要があることから廃止するものです。	原案可決
○ 平成28年度大館市一般会計補正予算（第4号）案 ・ あきた未来づくりプロジェクト事業費の追加 1,634万6,000円 ・ 臨時保育士賃金の追加 488万8,000円 ・ 地域少子化対策強化事業費 423万7,000円 ・ 介護施設開設準備経費等支援事業費補助金 1,117万8,000円 ・ 地域おこし協力隊事業費の追加 313万4,000円 ・ インバウンド体制整備事業費 439万3,000円 ・ 除雪費・除雪関連費の追加 4億4,272万7,000円 ・ 道路補修工事費の追加 2,327万6,000円 ・ 公民館管理費の追加 1,660万8,000円 以上を含め、補正総額 9億3,779万4,000円	原案可決

決算の認定

平成27年度一般・特別会計決算

主 案 件 ・ 内 容	結 果
一般会計歳入歳出決算、介護保険特別会計歳入歳出決算	起立採決により 認 定 (認 定 25 不認定 1)
国民健康保険、後期高齢者医療、介護サービス事業、戸別浄化槽整備事業など 14件の特別会計歳入歳出決算	認 定

平成27年度企業会計決算

主 な 案 件 ・ 内 容	結 果
水道事業会計決算、工業用水道事業会計決算、下水道事業会計決算、病院事業会計決算	認 定

請願と陳情

9月定例会に提出されたもの

請 願	○ 非常勤保育士の待遇改善について	採 択
陳 情	○ 法輪功愛好者への迫害及び臓器の強制摘出の停止を求めることについて	継続審査

継続審査となっていたもの

請 願	○ セシウムを含む焼却灰の受け入れ再開への反対について ○ TPP交渉の合意の撤回を求め、協定の調印・批准を行わないことについて ○ 労働基準法改定案の撤回を求めることについて ○ TPP参加に反対し情報公開と国会審議の徹底を求めることについて ○ 原発の再稼働中止を求めることについて ○ 沖縄県名護市辺野古における米軍新基地建設の中止を求めることについて	継続審査
陳 情	○ 医療・介護及び年金制度などの社会保障の充実を求めることについて ○ 介護従事者の勤務環境改善と処遇改善の実現を求めることについて ○ 全国一律最低賃金制度実現と最低賃金の改善、及び中小企業への支援について ○ 労働時間と解雇の規制強化について	採 択
	○ 歯科衛生士を市の正職員として雇用することについて ○ 脳しんとう（軽度外傷性脳損傷）の周知、及び医療・支援体制の整備について	継続審査

— 意 見 書 の 提 出 —

- 全国一律最低賃金制度の実現を初め、最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書
《提出先》内閣総理大臣、厚生労働大臣
- 労働時間と解雇の規制強化を求める意見書
《提出先》内閣総理大臣、厚生労働大臣
- 医療・介護及び年金制度などの社会保障の充実を求める意見書
《提出先》内閣総理大臣、厚生労働大臣
- 介護従事者の勤務環境改善と処遇改善の実現を求める意見書
《提出先》内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣

佐藤 芳忠 議員(無所属)



認知症進行予防事業と 介護家族への支援について

〔問〕 過酷な在宅介護は終わりが見えないため、ゴールのないマラソンとも言われています。介護が長引くと鬱状態になる人も少なくありません。

人によって認知症の症状は違いますが、一番つらい思いをしているのは家族です。自宅で介護している家族は毎日、つらい思いをしています。24時間365日、気が休まる時がないからです。

現在の認知症介護は「老老介護」がほとんどであり、家族だけでの介護は現実的に無理なものが必要です。国や県や市の支援が必要なもの。当市は4,383人の方が認知症を患い2,808人の方が在宅で家族に介護されています。

第一点、認知症の人や家族を対象に、病気の進行を遅らせた介護家族の負担を軽くするよ

うな認知症進行予防事業を実施したらいかがでしょうか。

第二点、認知症の介護家族には介護から離れる時間・自由な時間が必要です。介護家族への支援をお願いします。

〔市長〕 認知症の進行を抑制する事業につきましては、29年度から実施する介護予防日常生活支援総合事業の中で、先進事例や先進事業を大いに参考に、より効果的な施策を検討します。また認知症の方を介護する御家族の負担を軽減するため、多様な施策を今後は展開します。

市道の修繕要望箇所の「工事の順番の決め方」と「特定の目的でしか使われない行きどまりの市道」の再舗装について

〔問〕 市には毎年、多くの修繕要望が寄せられます。8月末現在、144カ所の要望箇所が補修されています。この中には何年間も据え置かれているものもあります。それは、順番通りではなく、重要性や経済効果など優先順位が高いと市が判断したものから補修しているからです。しかし、重要性や経済効果などは人によって考え方が違います。職員が優先順位の判断を誤らないように、当市も東京都あきる野市のように、道路補修の優先順位の基準をつくり、

その評価値により工事の順番を決め、市民に示すべきです。

第二点、穴埋め補修で済むと思われる道路を再舗装する理由をお聞かせください。

〔市長〕 今後は佐藤議員御提案のとおり、他自治体の基準を参考にしながら、特に議員ご提案のあきる野市の事例は非常に大いに参考になると感じているところがあります。本市の実情に合った補修基準をきちんと定め、その基準に従って道路の補修を進めてまいります。また、行きどまりの市道は、市内外の方々が利用する主要な施設へのアクセス道路として、国の交付金を活用し補修しています。

富樫 孝 議員(新生クラブ)



災害後に仮設住宅を建てるまでの間は、農業用ビニールハウスを利用してはどうか

〔問〕 仮設住宅が建つまでには時間がかかる。プライベートルな空間を確保するために利用し

てはどうか。

〔市長〕 農業用ビニールハウスの利用は、プライバシーの確保やエコノミークラス症候群の予防に有効である。季節や土地の状況、被災者のニーズなどを勘案し、既存のハウスの利用だけでなく、新設についても柔軟に対応したい。

へき地保育所について

〔問〕 へき地保育所の統廃合を考えているのか。

〔市長〕 3年前から74人減少して7カ所で237人となっている。集団の中で多くの友達と接することが大切なので、集団での保育が困難と判断した場合は、統廃合を考えている。その場合は保護者の思いを尊重し、地域の意見を聞きながら立地条件などを勘案し、よい保育環境になるよう進めていく。

敬老会について

〔問〕 参加人数が減ってきているので、やり方を考える時期にきているのではないかと。

〔市長〕 ことしは1万2,000人余りを対象に16カ所で開催する。対象者は年々ふえているが参加率は減少している。27年度は27・73%であった。年齢別の参加率は77歳から80歳が

24・5%と最も多い。開催に当たっては多くの方に難儀をかけたというが、参加を楽しみにしているとの声も少なからずある。で、その声をふやしていかなければならない。開催方法について検討していく。

秋田犬について

〔問〕 秋田犬をふやすための取り組みをすると言うが、どういう手だてを考えているのか。

〔市長〕 秋田犬保存会に登録している犬は40頭、会員は30人となっている。飼育者の高齢化や後継者不足が懸念される。本場の市として犬の頭数が少ないことを課題として認識している。繁殖については県や保存会と相談して支援策を検討している。保存会の協力を得ながら「秋田犬」活用による観光地域づくり推進事業で秋田犬オーナー制度など飼育者をふやすための飼育教室や、開催・展示・販売が可能となる動物取扱責任者の資格取得支援などを推進し、地域おこし協力隊などにより秋田犬を育てたいと思える環境づくりを進めていく。





たなかこうたろう
田中耕太郎 議員(いぶき)

市立病院の赤字続きの 決算について

〔問〕 病院事業の累積赤字額は幾らか。また、現金ベースで黒字とはどういうことか。

〔管理者〕 累積赤字は総合病院の高層棟建築の減価償却費の影響が大きく、25年度末で13億4,000万円であった。26年度は国の会計制度見直しで、設備投資に対する市からの繰入金で過去の分まで収益に計上できることから累積赤字が解消された。27年度末においては医業収益の減収などにより8,800万円の累積赤字を見込んでいます。現金ベースについては、収益では診療報酬や市からの繰入金であり、費用では人件費や材料費である。収益と費用の現金を伴うものだけで計算したものを現金ベースと表現している。

〔問〕 いままで高額な補助金の繰り出し状態が続くのか、また、続けられるのか。

〔市長〕 原則として病院事業は独立採算性が求められるものだが、性質上採算がとれない結核・感染症病床の確保や高度医療設備の確保など、企業会計だけでは負担が困難な経費については繰出基準に基づき一般会計で負担している。県北部の基幹病院として不採算部分を補う基準内繰り出しは今後も一定程度継続しなければならないと考えている。病院事業への実質的な繰出金は年平均約10億円で推移しており、特に26、27年度は医師確保対策を迫られ、2億円の基準外繰り出しを実施した。普通交付税の段階的削減により自主財源の増加が見込めず、繰出基準の有無にかかわらず一般会計の負担は厳しくなる。独立採算性の確立に向け一層の経営改善努力が必要になる。

〔問〕 医師確保対策費はどのような使われ方をしているのか。また、研修医を医師確保の成果と認識しているのか。

〔管理者〕 大学などから臨時的に派遣される医師への賃金支払いや研修医確保の経費に充てられる。呼吸器循環器内科や眼科などは常勤医師不足が解消されない状況が続いており、将来的に当院の医師が減少しないように、研修医の確保により人材を育成する必要がある。

〔問〕 地域包括ケア病棟の市

立総合病院経営全体像の中での有意性と、その将来像について。

〔管理者〕 4月から地域包括ケア病棟を導入し、急性期が過ぎた患者さんでも、リハビリを行い退院の準備や退院後の日常生活ができるまでの体力回復を図ることが可能となった。診療報酬改定で厳しくなった基準をクリアするためにも、急性期を過ぎた患者さんが地域包括ケア病棟に移ることが有効な手段となる。急性期病棟と包括ケア病棟のバランスを視野に入れて検討してまいりたい。

ささい ま
笹島 愛子 議員(目黒)



国が検討している 次期「介護保険制度改定」について

〔問〕 日本は、2025年に高齢化のピークを迎え、認知症とその予備軍の人数はさらに増大することが予想されている。そのような中、国は昨年に続いて再び負担増の計画を示した。

- (1) 介護サービス利用料の2割負担の対象者をさらに拡大する方針だ。本市の利用者はどうなるのか
- (2) 施設入所の低所得者に対する食費・部屋代の軽減制度の対象を再び見直す計画について
- (3) 福祉用具の貸与を自己負担にする計画について

〔市長〕 市としては、国の制度改正の動向を注視し、必要に応じて市長会等を通じ国に働きかけていく。

バスの未運行地域への 実証試験はいつ行つのか

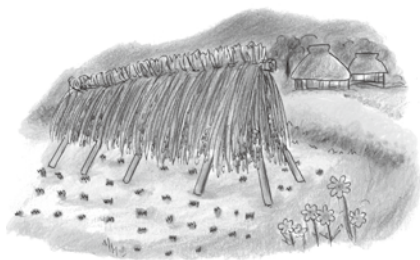
〔問〕 バス運行については昨年の9月議会でも質問を行い、バスが走っていない地域の皆さんの困っている状況を訴えた。それに対し、この1年間回答はなかった。地域の皆さんは1日に何往復もの運行を求めている。まずは週1〜2回の運行からでも実施してほしい。多くの皆さんが諦めと不信感を持っている。ぜひ心えること。

〔市長〕 今後、生活路線バスの活用を最優先にしながら、地域の特性に合った移動手段を提供できるよう努めていくとともに、利用者ニーズと運行経費のバランスを考慮しながら、バス会社などと粘り強く交渉していく。

保育士の待遇改善で 保育士不足を解消し ゆとり保育を

〔問〕 このたび、個別に実施したアンケートの回答を見ると、驚くべき実態が明らかになっており、匿名とはいえよく勇気を出して書いてくれたものだと感じずらなくなった。この思いにぜひ応えること。

〔市長〕 保育士の確保については、保育士の処遇改善が最も重要であると認識している。市の非常勤保育士については早急に処遇改善を行うため、10月以降、賃金を6・9%引き上げることとした。引き続き処遇改善に取り組む、職員の働く意欲を高めていきたいと考えている。



中村 弘美 議員 (平成会)



吉田松陰の「松下村塾記」

から学ぶ地域づくり

〔問〕 人材育成、職員同士の切磋琢磨による能力向上は不可欠だ。市長の考えは。

〔市長〕 吉田松陰は、揺るぎない信念と熱い情熱をもって多くの幕末の英傑を育て上げた稀有な教育者であり、比類なき行動力を持った人物として尊敬する偉人の一人である。松下村塾記からは、松陰が考える教育論やリーダーとしてのあり方など多くのことを学ばせていただいた。特に、教育の力によって小さな地方都市からでも国全体を動かせる人物をつくり出せる可能性があること、その上で重要なことは、師が塾生とともに学び合おうとする謙虚な姿勢など、市政運営を担う市長として非常に感銘を受けたところである。また、松下村塾記のほかに吉田松陰は数々の名言を残しており、その中の一つに「大凡士君子の

事を成すは、志気如何にあるのみ。志を立てるは奇傑非常の士に交はるに在り、気を養ふは名山大川を跋涉するに在り」とあるがこの言葉は、①心ある立派な人物が物事を行うときには意気込みがどのような状態にあるかだけによる、②志を立てる方法は特にすぐれた会いがたい人に接することにある、③やる気を起こす方法は有名な山や川などをめぐり歩くことにあるという意味であり、私の目指す人づくりはここにあると考えている。

〔問〕 中央図書館敷地に移築後の松下村塾について。

〔教育長〕 人材育成については、ふるさとキャリア教育の学び合いを通して、大館の市政・社会・産業を担える「人財」を生み、その「人財」によってつくられる未来大館市の中からこそ高い精神や文化が生まれるものと確信している。今回、移築が決まった松下村塾は、市民の新たな生涯学習の場と位置づけ、「万卷の書を読むに非ざるは、いづくも千秋の人たるを得ん」、すなわち多くの書を読まずに1,000年語り伝えられる人物にはなれないという松陰の言葉を掲げ、読書活動推奨の場としても活用したいと考えている。活用の具体案としては、学びの場としての活用だけではなく、これまで培った学習の発表の場としても活用する計画である。



〈山口県萩市の松下村塾〉 中村議員提供

田村 儀光 議員 (平成会)



地方創生交付金について

〔問〕 大いに利用すべき。本市の取り組み状況は。

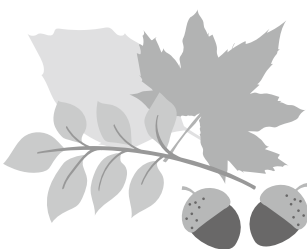
〔市長〕 今年度は国の27年度補正予算で創設された加速化交付金を活用し、北秋田市・小坂町・上小阿仁村との地域連携による一般社団法人秋田犬ツーリズムを立ち上げた地域連携DMO形成事業、シングルペアレ

ント移住定住促進事業、観光と産業のコラボレーション事業の3つで総額7,859万円の事業に取り組んでいる。今年度新たに創設された推進交付金では、秋田県との連携による秋田犬を活用した観光地域づくり推進事業、北秋田市・小坂町との連携による地域産品磨き上げ事業、大館版CCRC事業の3つで総額1,938万円の事業に8月2日付で内示をいただいている。また、企業版ふるさと納税を活用できる、まち・ひと・しごと創生寄附活用事業として、ペットと泊まれる宿泊施設整備事業も同日付で認定され、取り組みを始めたところである。加えて、推進交付金の対象事業数の枠が拡大されたことを受け、県との連携により、働くパパママ応援企業啓発事業にも取り組みたいと考えている。さらに8月24日には、地方創生拠点整備交付金の取扱案が閣議決定されたところであり、詳細な情報が入り次第、本交付金の活用も探ってまいりたいと考えている。

小・中学生の交流事業について

〔問〕 サマースクールや留学制度を早急に事業化すべきと思うが。

〔市長〕 本市では、鹿兒島県南種子町・沖縄県嘉手納町・茨城県常陸大宮市との児童交流を行っている。今後は定着化と磨き上げを図りながら、大館市まると体験推進協議会などの関係団体と連携し、サマースクールなど中長期滞在の受け入れ体制の整備について検討してまいりたい。



ささきこうじ
佐々木公司 議員 (いぶき)

受動喫煙防止の対応について

〈問〉 たばこ白書に基づく受動喫煙防止対応や、新庁舎での考え方は。

〔市長〕 全面禁煙を想定し、建設基本計画に盛り込んでいるが、市民や各団体の意見を聞きながら判断したい。

市立総合病院の アメニティー向上について

〈問〉 患者の目線で改善すべきと感じた点は、ベッドの電動化、雨漏り対応、動かない時計。また、日本一クラスの集まる病院では不衛生、不快と感じる。

〔管理者〕 患者サービス向上委員会を設置の上、今後も御指摘の点の改善を含め、より一層療養環境の充実を進め、患者本位の利便性の高い病院を目指してまいりたい。

がん征圧月間と 取り組みについて



〈問〉 9月はがん征圧月間。秋田県はがん死亡率全国ワーストワン。早期発見・早期治療の取り組みは。

〔市長〕 市では、胃がんなど6種類のがん検診を実施しており、受診率向上のため、未受診の方に文書や電話による勧奨や、保健衛生推進員による地域の方々への声がけを実施。早期発見のために若い世代への啓発活動や働き盛りの方が受診しやすい体制づくりに努める。

いじめ・犯罪の実態と 防止対策について

〈問〉 学校現場におけるいじめ・犯罪の実態と防止対策は。

〔教育長〕 小・中学生を対象に年3回いじめ調査を実施。7月の認知件数は小学校310件、中学校29件。小学校が多いのは自我発達の初期段階にある低学年であり、からかいなど子供がいじめと感じたことをカウントしている。また、各校に心の相談員やスクールカウンセラーの派遣、少年相談センターなどとのネットワークも構築している。

通学路の安全対策について

〈問〉 秋の交通安全運動が行われるが、小・中学校、高校の徒歩もしくは自転車通学における安全対策は。

〔市長〕 大館桂桜高校の開校

に伴い通行量が増えた通学路について、下川沿駅に向かう国道7号や東大館駅に向かう区間も含め実態調査し、対策が必要な箇所は国土交通省などと協議する。

防災対策について

〈問〉 防災訓練を各町内単位もしくは学区単位で計画は。また、台風10号に対する災害警戒対策室のシミュレーションは。

〔市長〕 消防本部の指導のもと、町内会でも実施。災害警戒対策室は各課と連携し備えた。



おばた しんいち
小畑 新一 議員 (公明党)

一次避難所となる公民館の 非構造体の耐震化と 福祉避難所の件

〈問〉 災害時に利用する一次避難所は、建物の非構造部材を耐震化して、発災後すぐに使用できるようにすべき。

〔市長〕 一次避難所となる公民館では、事務所内の安全性を

見直す必要があると考えている。議員御紹介の学校施設の非構造部材の耐震化ガイドブックを今後の定期点検に活用し、一次避難所の確保を図りたい。

〈問〉 福祉避難所の開設が必要なときの福祉部と危機管理課の連携マニュアルづくりが必要では。

〔市長〕 今後、福祉避難所の指定をふやす構想もあることから福祉避難所開設マニュアルづくり、福祉部と危機管理課の定期的な会合、開設・運営訓練の実施を早急に精査する。

移住施策について

〈問〉 移住施策は、二地域居住を中心に進捗はどうか。

〔市長〕 二地域居住は、生活環境の変化に余裕を持つて対処することができるところから、移住につながる期待が持てる。長期滞在には空き家バンクの事務手続きを簡素化して、登録件数の増加が必要と考えている。

〈問〉 CCRCの推進はコストの面を考えて検討すべき。

〔市長〕 大館版CCRCは、移住ターゲットを高齢者だけでなく、子育て世代を含めた幅広い年代層とし、市の強みや地域特性を生かした多様な居住環境を提供しながら移住を誘発し、地域活性化を図るものである。

結婚支援と子育て支援について

〈問〉 大館らしい結婚支援・子育て支援の充実を図れないか。

〔市長〕 ニーズが高い病児保育の混雑緩和に向け、回復期の子供には病後児保育を利用していただくようにし、保護者が職場から迎えに行きやすい子育てに協力的な企業をふやす。

除雪について

〈問〉 除雪費用の見直しが必要ではないか。

〔市長〕 契約事業者との個別ヒアリングにより、雇用形態や待機コストの調査を行いたい。

〈問〉 雪寄せ場の確保にさらなる支援策を。

〔市長〕 除雪事業者から雪寄せ場として提案・要望のある箇所は町内会や土地所有者へ働きかけるなど、雪寄せ場の確保に向け積極的に取り組みたい。

スポーツイベント誘致の件

〈問〉 スポーツイベントの誘致にはいろいろな視点が必要では。

〔市長〕 飲食や利用時間の制限などの緩和について、市民や利用者の意見、ニーズを踏まえて取り組んでいく。大館市の資源を生かしたトレッキングツアーなど、秋田犬ツーリズムマーケティング力を生かし、国内外に広く発信していきたい。

相馬エミ子 議員(新生クラブ)



石田ローズガーデンの

管理について

〔問〕 平成7年に名誉市民故石田博英氏の家族から寄贈されたバラについて、当時600種あったのが、約500種に減っていることが確認されている。管理のあり方について伺いたい。

〔市長〕 バラの品種は、老木化や雪害によって減少している状況。管理は業者に委託しているが、今後、専門家のアドバイスを定期的に取り入れ、ローズガーデン全体を整備し、大館の宝として大事に管理してまいりたい。

市立病院の紹介状の問題と

予約制のあり方

〔問〕 相変わらず病院に対する苦情が多く残念である。いつになったら紹介状なしでも受け入れるのか。また、予約制についても待ち時間が長過ぎて予約

の意味がない。改善策を検討してほしい。

〔管理者〕 当院と地域医療機関との連携は欠かせない。医師の確保が厳しく、今後も紹介状が続くことを御理解願いたい。予約制については改善を図ってまいりたい。

〔問〕 がん患者の治療室のトイレ設置について伺いたい。

〔管理者〕 工事が多額となることから来年度実施したいと考えている。

公共下水道整備は

住民負担のない方法で

〔問〕 下川沿地域は未整備地域となっているが、いつごろ計画されるのか。また、住民の声として、個人負担のない方法で検討していただきたい。

〔市長〕 今後10年先を見据えて新たな整備計画を作成したところである。下川沿地区は30年度に実施する計画。整備地区に土地を所有している人からは受益者負担、または、分担金を納めていただくことになるが、5年間の分割納付制度もあり軽減を図っている。浄化槽の設置に對し助成制度も設けている。必要不可欠なインフラであり御理解をお願いしたい。

身寄りのない高齢者や

買い物難民に対する対応は

〔問〕 身寄りのない高齢者や買い物難民に対する対応は。

〔市長〕 民生委員等を通し、身寄りのない高齢者の実態調査や支援の必要な認知症の人に対し、成年後見制度を勧める等、取り組みを進めている。買い物難民については、一人で外出できない高齢者にヘルパー派遣や買い物代行の支援をしている。また、移動販売への気運も高め、いろいろと検討している。

あかし ひろやす
明石 宏康 議員(いぶき)

続発する熊被害について

〔問〕 当市でも市街地への熊の出没があり、連日の農作物への被害とあわせ深刻な問題である。捕獲技術向上に関して、射撃場の整備に係る国の補助制度などがあるのでもっと活用してほしい。縁あって銃所持の許可申請をしているが、自分が射殺

する側になってその是非を自問する。これだけの被害がある中、一定数の殺処分は不可避の選択である。

〔市長〕 被害の被害件数も現時点で昨年の1・7倍だ。補助制度に関しては鳥獣被害対策の構成員と協議を進め検討したい。県ではツキノワグマ出没警報を発令しており、熊の有害捕獲活動を適切に行っていく。

非常勤保育士の

待遇改善について

〔問〕 市内保育園に勤務する非常勤保育士の賃金体系は極めて低い水準と言わざるを得ない。50歳で手取り10〜20万円では家族の理解を得られずに、やむなく保育現場を去る人がいる。市では10月より6・9%の昇給を決めた。大きな第一歩であり、感謝したい。実質的な長期間勤務に対する評価や賞与の検討、正職員との産休・育休の差解消など課題はいまだ多い。市議の私は力及ばず、市長の政治判断が求められる。9月議会に請願書が提出されたが、アンケートに書きつづられた多くの保育士の声が市長にも届いてほしいと切に願う。保育士は市内にいる現場を去ってしまっただけだ。

〔市長〕 基幹保育園は正職員50名、非常勤職員47名とその運

営において非常勤保育士の役割は大きい。今回の昇給ではフルタイム勤務の場合月額約1万円の賃金改善につながる。今後、賃金改善を進めるほか、クラス担任などへの月給制の導入も検討し、職場環境の改善を図る。子供たちが生き生きと健やかに成長する保育環境づくりに努める。

いわもと ゆうじ
岩本 裕司 議員(新生クラブ)上水道の安全・安心な
一体管理について

〔問〕 上水道の安全・安心を守るために、森林や下水・下流域にも配慮した水の管理を。

〔市長〕 森林の保全、水田や生活排水の水質管理など、多岐にわたる対策が必要である。米代川水系水質汚濁対策連絡協議会を組織し監視しているほか、多目的機能支払交付金事業で河川流入水の水質の保全と向上を図っている。各部署と重層的に取り組み、安全・安心な水の確

保に努める。

官製ワーキングプアを つぐらない対策について

〈問〉 非常勤職員・委託労働者や指定管理先の職員の待遇改善を図り、官製ワーキングプアをつぐらない管理体制や契約の仕方、条例をつくるべきである。

〈市長〉 市の非常勤一般事務職の賃金は、ハローワーク大館が公表している常用パート職員求人賃金とはほぼ同水準であり毎年賃上げをしている。指定管理者制度は、民間のノウハウを生かしたサービスの提供をしていただくことが目的であり、利用者へのサービス向上、雇用環境などを評価し、管理者を指定している。また、契約期間の賃金水準の変動に対応する規定を設ける等の対策を行っている。

農家の理解が進まない中で TPP導入は疑問

〈問〉 政府は説明責任を果たしていくと言いつながら、実態は明らかにされていない。このような状況下で批准を進めようとしていることに疑問を感じるが、市長の考えは。

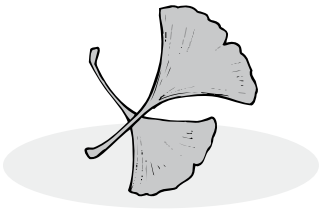
〈市長〉 農家の議論が進んでいないことについては、国において国民へのさらなる情報開示

と丁寧な説明が必要であると考えている。国・県と連携を図りながら農業に英知を終結させ、意欲ある農業者が安心して経営に取り組めるよう必要施策を展開していく。

市民からの意見、 「ハチ公の駅」への提言

〈問〉 平成17年の南北自由通路整備以降、遅々として進まなかった駅前の整備が実現するの不安視されている。ハチ公の駅については「にょい」の心配はないのか」「犬だけで集客できるのか」「産直施設を併設してはどうか」など、市民からの意見・提言がある。市長の考えは。

〈市長〉 大館駅周辺の再興は、大館が輝いていくために是が非でもなし遂げなければならない未来への投資の一つである。頂戴した意見やその他の意見も含め、今後の計画を策定していく中で検討していきたい。市民が誇れる駅前の再生を図りたい。



議会報告会のお知らせ

市議会では定例会の議決結果や常任委員会での審査内容などを市民の皆様へ報告し、また、意見交換を行うため市内8会場で議会報告会を開催いたします。どなたでも、どの会場にも参加でき、事前のお申し込みなどは不要ですので、皆様のご参加をお待ちしております。

11月15日(火) 開催

◆田代公民館

集会室

日時 11月15日(火)
午後2時～4時

◆花岡公民館

会議室

日時 11月15日(火)
午後7時～9時

11月14日(月) 開催

◆中央公民館

第1・第2研修室

日時 11月14日(月)
午後2時～4時

◆構造改善センター (比内町達子) 多目的ホール

日時 11月14日(月)
午後7時～9時

11月17日(木) 開催

◆北地区コミュニティ センター(別館) 多目的室

日時 11月17日(木)
午後2時～4時

◆田代公民館赤川分館

和室

日時 11月17日(木)
午後7時～9時

11月16日(水) 開催

◆比内公民館

第9研修室

日時 11月16日(水)
午後2時～4時

◆下川沿公民館

第1・第2研修室

日時 11月16日(水)
午後7時～9時

私もひと・ひと・ひと 第28回

秋田県農協青年部協議会副委員長

花田 博志さん (大館市比内町)



私の出会えた農業

大館市比内町で生まれ育った私は、高校・短大・工務店を経て22歳になる年に就農しました。実は私の実家は農家ではありません。一般的なサラリーマン家庭で育ち、農業とは全く関係のない生活を送っていました。そんな私がなぜ農業についたのかというと、父方のおじからの「うちには農業を継いでくれる後継者がいない。絶やしたくないから後を継いでほしい」という一言がきっかけでした。農家育ちではない私にとっては余り現実味もなく、最初のころは何も返事ができずにいました。

当時勤めていた地元の工務店の仕事は嫌いではなかったのですが、不景気の影響なのか冬期間はたびたび休みになり、そのような時に「農業もいいかな。たまの夏休みに手伝った時のあの達成感の先には何かがあるのかな」と、今思えば浅い考え方ではありましたが、思い切って工務店を退職して就農することを決意しました。

あれから14年の月日がたちました。この間におじは亡くなり、今はおじが残してくれた葉たばこ栽培を中心に水稲、とんぶり栽培を妻と2人で営んでいます。大館市の基幹産業でもある農業は、いろいろなことを私に教えてくれました。非農家にとっても農業は身近な存在であること、農商工の異業種交流の大切さ、人との出会い、そして何よりも地元農業を担う立場にあるという責任など、いろいろなことを考えさせられ、同時にチャレンジさせてくれる農業に出会えて本当によかったです。

今はJAあきた北青年部にも所属し、子供たちへの食育活動や、きりたんぼまつり、アメッコ市、とりの市など各イベントに積極的に参加し、比内地鶏を初めとする大館が日本全国に誇れる「大館ブランド」を発信する立場として日々奮闘しています。このような活動をして思ったのは、農業生産者の力だけでは完結できないことがあるということです。農業だけでなく商業・工業との連携、そして市政とのつながり。このようなことがとても大切だと思います。これから農業界にとって大きな時代の変わり目を迎える中、「困ったら大館市が何とかしてくれるだろう」というような下向きな考え方をもち、みんなが「共存・共有・協調」の精神を持ち、強い気持ちで前に突き進むことこそ大館市発展のきっかけの1つになると思っています。

市議会議員の皆様におかれましては公務御多忙かと思いますが、議員であると同時に同じ大館市民として人と人との輪になっていただくことです。私も大館市がさらに攻めの市政(姿勢)になれるよう、市民の1人としてこれからも協力していきたいと思っています。

「私もひと・ひと・ひと」のコーナーでは、みなさんからの「なまの声」を募集しています。
議会議務局までご連絡ください。

市議会を傍聴してみませんか

定例会と臨時会の本会議はどなたでも傍聴できます。

傍聴されるかたは、市役所東側(裁判所側)3階の議場入口で受付簿に住所・氏名等をご記入のうえ、係員の指示に従って議場へお入りください。

なお、団体での傍聴をご希望の場合は、傍聴席の数に限りがありますので、あらかじめ議会議務局にご連絡ください。

☎ 43-7108 (直通)

編集後記

秋晴れの中、黄金色の稲穂が次々と刈り取られていく。収穫の秋は農家にとって最も心弾むときである。台風10号の直撃を受けた地域の農家は、収穫の喜びが一瞬のうちに落胆と前途の不安に変わった。もし、コースが少しずれていれば、私たちも同じ被害を受けたかもしれない。大館は災害のないところという市民の声もあるが、何十年住んでいても「こここんな災害に遭うとは思いませんでした」という被災地の住民の声を忘れてはならない。

(吉原 正 記)